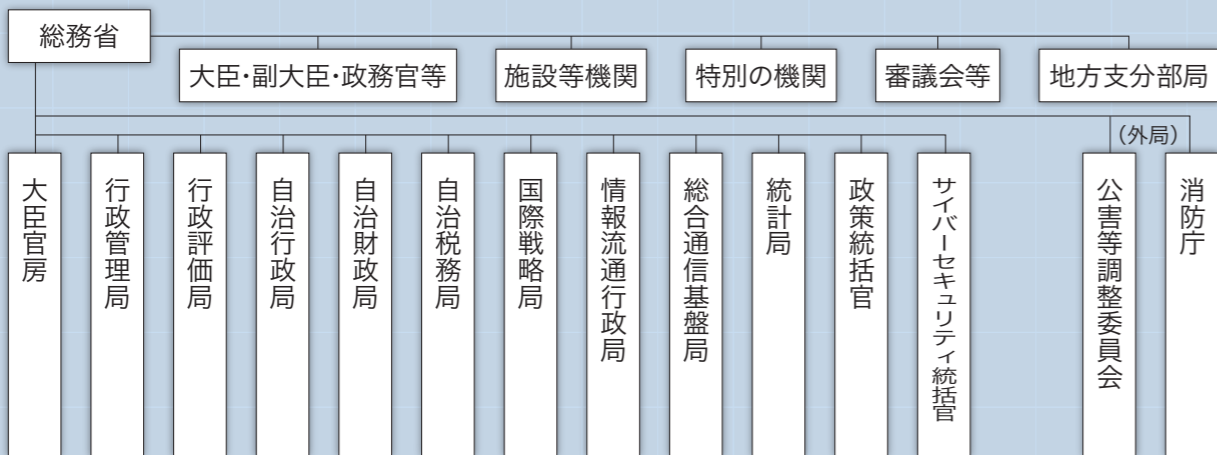


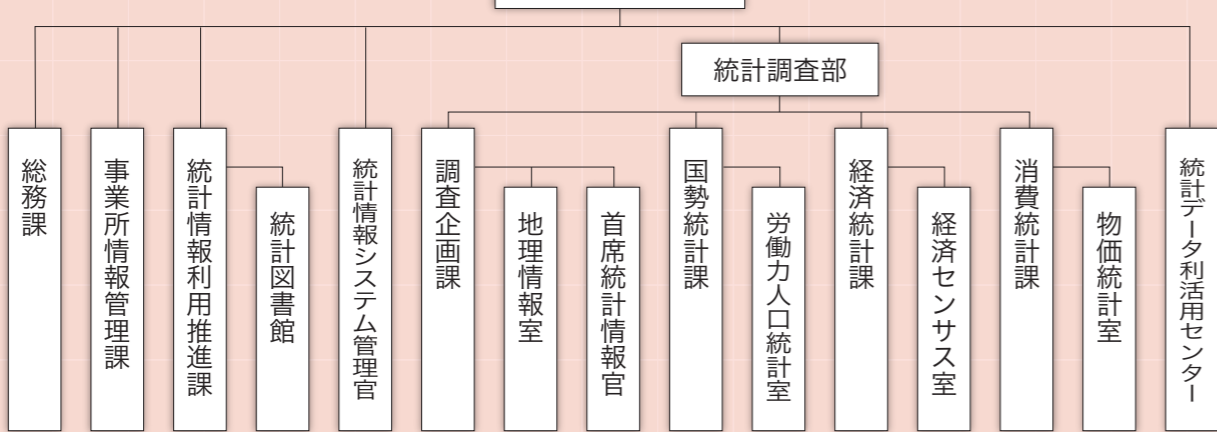
目次

| | | | |
|---------------------|-----------------------------|--------|-----|
| 「統計調査は日本を支える情報インフラ」 | 統計局統計調査部国勢統計課統計専門職 | 峯岸 達彦 | p03 |
| 「ぜひ統計局を選択肢の一つに」 | 統計局統計調査部消費統計課物価統計室物価構造審査発表係 | 小原 夏歩 | p04 |
| 「統計のために」 | 統計局総務課施設係 | 和田 隼希 | p05 |
| 先輩職員の日・1か月・1年 | 統計局統計調査部消費統計課物価統計室企画指導係 | 佐々木 健太 | p06 |
| | 統計局統計情報利用推進課統計情報戦略係 | 日高 涼菜 | p07 |
| 「統計局で一緒に働きませんか？」 | 統計局事業所情報管理課事業所母集団データベース調整係 | 宮田 真波 | p08 |
| 「統計局で一緒に働きましょう！」 | 統計局統計調査部消費統計課企画指導係 | 山本 亮太 | p09 |
| 「みんなの力で作り上げる『統計』」 | 統計局総務課支出負担行為係 | 小夏 憂樹 | p10 |
| Q&A | | | p11 |

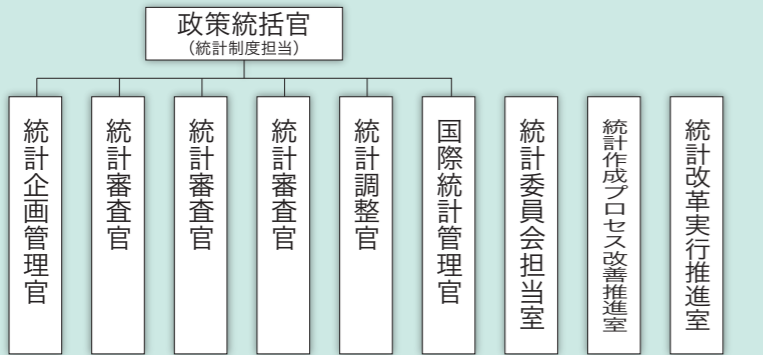
総務省の組織



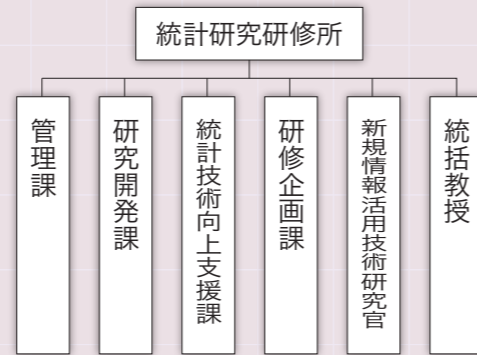
統計局の組織



政策統括官の組織



統計研究研修所の組織



統計調査は 日本を支える 情報インフラ

統計局統計調査部
国勢統計課統計専門職

峯岸 達彦

MINEGISHI Tatsuhiko

平成21年 4月 入省
統計局統計調査部国勢統計課住宅・土地調査第二係
平成23年 4月 統計局統計調査部経済統計課企画第二係
平成26年 4月 独立行政法人統計センター製表部管理企画課
経済センサス業務推進室(活動調査担当)
平成27年 4月 同 統計編成部企画課
経済センサス企画室(活動調査担当)
平成29年 7月 統計局統計調査部消費統計課情報システム係
平成31年 4月 統計局統計調査部国勢統計課企画係
令和 3年 4月 現職

Q 総務省統計局に決めた理由

「心惹かれて」

私自身、特に統計の仕事がしたいと意気込んでいたわけではなく、恥ずかしながら知識はゼロに等しかったです。統計局の業務説明会に参加して、統計データは、国や地方公共団体の各種施策の土台を形成するためにはなくてはならない存在であること、データとして表すための統計調査には、多岐にわたる検討、それをクリアしていくために地方公共団体をはじめとする関係各所との地道な調整があることを知り、その「縁の下の力持ち」としての仕事に心惹かれたことが、総務省統計局に決めた理由です。

Q 現在の仕事と今までに担当した仕事

「国の最も重要な統計調査」

皆さん、「国勢調査」をご存じですか。皆さんは、「国勢調査」をご存じですか。1920年(大正9年)から5年に1度実施しており、2020年(令和2年)に100年目の節目を迎えた国の最も重要な統計調査です。調査日である10月1日現在で日本国内に住んでいるすべての人と世帯を対象として行いましたので、独り暮らしをされている方などは実際に回答されたことと思います。私は、その「国勢調査」の企画・立案や、調査が円滑に実施できるように全国47都道府県との様々な調整事務に携わってきました。現在は、次回の国勢調査に向けて地方公共団体からいただいた意見のとりまとめ、評価を行っています。

Q 仕事の魅力とやりがい

「日本の将来を支える統計調査」

統計という仕事は一見地味な印象を受けますが、世の中の動きを反映し、国や社会の進むべき方向を示す指標を形成するという大きな役割があります。統計データがないと、日本の将来を描くパズルのピースが欠けてしまい、地域行政や福祉施策、社会保障など様々なところで国民の暮らしに影響を与えてしまいます。総務省統計局では、前述の国勢調査といった行政運営の基盤となる統計の作成や、完全失業率や消費者物価指数といった主要な経済指標など、統計データの提供を通して日本の将来を支えています。



Q 皆さんへのメッセージ

「ぜひ一緒に働きましょう」

統計データが新聞などで報道されると、改めて「統計調査」のもつ情報インフラとしての重要性、仕事に対する責任の重さを実感すると同時に大変やりがいを感じます。皆さんもこのやりがいのある統計の仕事に携わってみませんか。少しでも統計に興味を持たれた方は統計局に足を運んでみてください。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。